



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年10月29日(金)発行
校長 栗原 博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

尾倉中体育大会に寄せて～保護者・地域の皆様へ～

「体育大会」を通して育てたい力・育ってほしい力とは・・・

10月上旬まで、厳しい残暑の中、生徒も、一緒に指導している先生方にも、頭が下がります。

学習指導要領では、体育大会は、特別活動の学校行事「健康安全・体育的行事」に位置付けられています。その内容は「心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと」とあります。

「体育大会」という行事を考えてみると、以下のような特性が上げられると思います。

- (1) 集団で勝敗を競う体育的行事である。
- (2) 集団行動を多く伴う体育的行事である。
- (3) 生徒が会の運営に関わる行事である。
- (4) 地域や家庭に広く公開する行事である。

したがって、この4つの特性を生かした意図的な教育活動を展開しています。



【I】 勝つために全力を尽くす全力でがんばる力、団結力・連帯感、体力の向上、フェアプレーの精神、勝敗への正しい態度等

「集団で勝敗を競う体育的行事」であるのですから、勝敗も大切にしてほしいと思います。アジア大会、甲子園で、日本中が感動したのは、勝利を目指してあきらめず全力で戦う選手達の姿に対してでしょう。体育大会でも、絶対に頑張るという強い気持ちが必要です。その気持ちがあるからこそ、全力で走り、力を出し切ることが出来ます。たとえ1位になれなくても、順位を一つでも上げれば、自分の組や色に点数が加算され、勝利に貢献できます。そのがんばりを称賛したいものです。そして、絶対に落としてはならない指導があります。勝敗にだけこだわると、不正行為や優越感・劣等感を助長することになります。したがって、以下の指導を行っています。

1つめは、フェアプレーで戦うということです。反則をして勝っても、ほんとの勝ちではないということです。正々堂々と戦って勝つのがほんとの勝ちであるということを指導しています。

2つめは、勝敗の結果に対する正しい態度を教えるということです。勝敗の結果に対する正しい態度を教えておかないと、往々にして「ざまあ見ろ」などと負けた方をさげすんだり、逆に、勝った方に対して「勝ったからって調子に乗るな」などと悪態を吐く子がでてきます。ラグビーでは、敵味方というサイドで戦っても試合が終わればノーサイドになって、お互いの健闘を讃え合います。スポー

ツの素晴らしい一面です。そんなスポーツの例なども話し、赤組も白組も青組も黄組も、勝利を目指して一生懸命に頑張ったことは同じです。「勝って驕らず、負けて恥じず」という言葉のように、お互いの健闘を讃え合う気持ちが大切であることを教えていきます。



【II】 練習を通して集団行動を徹底させる集団行動力、規律ある態度、協力、集中力等

体育大会は、集団行動を身に付けるまたとない機会ととらえ指導を徹底しています。

(1) 「行進」について(本年度は実施しません)

「行進」は一つの演技であり、前後左右の人を意識しながら、足並みをそろえて歩くことです。子どもがそのことを理解していないと、一人で自分勝手に歩き、行進になりません。次に、行進は、「めあて」をもたせています。「手は目の高さ」「ひざは腰の位置」など発達段階にあった「めあて」を決めています。

(2) 練習中に身に付けさせたい集団行動について

練習が効率よく進められるための集団行動を徹底させました。以下の3つの集団行動を「練習時の約束」として子どもたちに話し、意識させてきました。短時間で効率的に練習を進めることは、熱中症の予防にもなります。

- ① 集合時間を守る
- ② 移動はかけ足ですばやく動く
- ③ 先生が話す時は、先生の方を向いて聴く
- ④ 「起立」「礼」の仕方をきちんとする



【III】 体育大会を運営していくことに誇りをもたせる責任感、協力、自尊感情等

専門委員の生徒は、競技をしながら体育大会の運営に関わります。これは、なかなか大変なことですが同時に、自覚をうながすチャンスでもあります。体育大会には、家族の人ばかりでなく、地域の人やお年寄りも見にやってきます。その大勢の人たちの前で、自分たちが係の仕事を担い、体育大会を運営していくのです。係が動かなければ体育大会は成功しません。そのことに責任と誇りをもつように指導しています。体育大会終了後も、勝敗を越えて、係の仕事の責任を果たしたことについて、ご家庭でも大いに褒めてあげてください。この体育大会を通して自覚がさらに高まれば、素晴らしいと思います。



【IV】 尾倉中学校の「よさ」を地域に発信する表現力、発信力等

体育大会は、最大の学校公開行事の一つです。日頃、学校通信で学校の様子を伝えていても、実際に生徒の姿を見れば、一目瞭然です。生徒の姿を通して、学校の様子が分かります。

日頃から、授業に一生懸命取り組んでいる個々の姿、集団での質の高さ、服装の乱れのない態度、特に3年生のリーダーとしてのがんばりなどは、他校に誇れる尾倉中の「よさ」です。それを、競技、演技、運営の姿を通して地域に発信します。

そして、その「よさ」は、生徒と先生の日々の努力によって、子どもたちの身に付いたものです。この体育大会を機会に、大いに「尾倉中」のよさと共に本校教師集団の力も発信します。

体育大会を通して、生徒がさらに一回り成長することを大いに期待しています。